

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 大 水 文 隆
〒852-8113 長崎市上野町 10-34
カトリックセンター内
TEL095(843)3869 FAX095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木 博 英 社
〒850-0852 長崎市万屋町 5-13
TEL095(821)2146 FAX095(821)2148



教皇さまの
意向のために祈りましょう

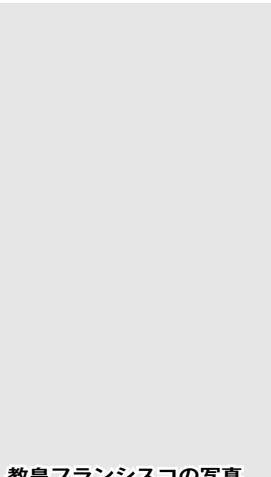
- ①一般：いのちの源である典礼
- ②宣教：宣教地の教会
- ③日本：新年度の志

Habemus Papam!

私たちは新しい教皇をいただきました

新教皇フランシスコ

教皇選挙2日目の3月13日19時過ぎ(ローマ時間)、システイナ礼拝堂の煙突から白い煙が上がった。それからおよそ1時間後、トラン枢機卿が聖ペトロ大聖堂のバルコニーから、サンピエトロ広場に詰めかけた群衆に向かってラテン語で宣言した。「皆さんに大きな喜びをお



教皇フランシスコの写真

カ出身およびイエズス会士として、初の教皇となった。新教皇フランシスコの就任ミサは、3月19日聖ヨセフの祭日に行われた。高見三明大司教は「新教皇のご健勝とご活躍を祈りつつ、新教皇を中心にして、長崎のカトリック信者も、全世界の兄弟姉妹たちと共に、すべての人々にキ

伝えます。私たちは新しい教皇をいただきました」第266代教皇に選出されたホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿(76、イエズス会)は、アルゼンチンのブエノスアイレス生まれ。ラテンアメリカ出身およびイエズス会士として、初の教皇となった。新教皇フランシスコの就任ミサは、3月19日聖ヨセフの祭日に行われた。高見三明大司教は「新教皇のご健勝とご活躍を祈りつつ、新教皇を中心にして、長崎のカトリック信者も、全世界の兄弟姉妹たちと共に、すべての人々にキ

リストの『よい知らせ』を告げ知らせ、すべての人々の真の平和と幸福のために少しでも奉仕できるように努める決意を新たにしたいと思っています」との談話を発表した(全文は教区HPにて)。

1 教区内のカトリック学校のことを知っていますか?

教区内のカトリック学校は、小・中・高・大学に限れば、ほとんど長崎市内に集中しています。創立年代順に見ますと、一番古いのは海星学園で、1892(明治25)

2 カトリック学校教育の重要性

カトリック学校は、公立学校と区別される私立学校です。その設立母体は、純心学園以外に欧米からの修道会などです。アメリカでは小教区が経営する学校もあり、聖マリア学院や南山小学校はその例です。現代社会は、多様な

主の復活のお慶びを申し上げます。主はまことに復活され、今生きて、わたしたちと共にいてくださいます。この信仰の確信と喜びをより広く分かち合うよう努めてまいりましょう。



大司教 ヨセフ 高見 三明

2013年復活教書 カトリック学校教育の意義

に中学校の開校を見ました。精道小学校は78年、中学校は84年、高校は2009年に創立されました。1981年から男女別教育が行われてい

あなたは永遠の司祭

3月17日15時、浦上教会で約1200人の信徒、修道者と113人の司祭が参加する中、高見三明大司教の司式により、司祭祝詞が読まれた。ミカエル川端志範神学生(滑石教会)が助祭に、ヨハネ中野健一郎師(本原教会)が司祭に、それぞれ叙階された。

出身教会の信徒代表による受階者の紹介に続き、ミサ前の講話で本原教会主任の江夏国彦師は、「神からの呼び出しの不思議さを感じる」と語り、「神は思いのままに、選ばれた者たちの中に遣わされる。才能があるかないかとか、自信があるかどうかは左右されずお

使いくださる。回りを道にしても、今日までの一つ一つは意味がある」と、これまででの困難な歩みにも触れた。叙階の儀の中で諸聖人の取り次ぎを願う連願と大司教による接手の後、司祭団は司祭受階者に接手をもち、司祭団・助祭団に迎えられた。ミサの終わりに大司教から新司祭の任地が紹介され、浦上教会は大いにわいた。



両親を祝福する中野神父

価値観、相対主義、物質主義、個人主義、家庭崩壊などの影響を強く受けています。そのような中で、人間教育も信仰教育も容易ではありません。だからこそ、家庭や教会だけでなく、学校教育が不可欠です。カトリック学校の教育は、試験の点数による評価に偏りがちな日本の学校教育に対して、キリストの教えを基本とした人間教育と信仰教育を軸とし、英語教育などそれぞれ特徴のある取り組みもしています。

カトリック学校の特徴は、(1)キリストを基礎とした明確な教育プロジェクトを通して人間をあらゆる面で教育する場。世界中で「人間をつくる」という点で貢献している。どんな人間かという点、キリストに似た人間である。(2)信仰と文化と生活の調和がとれた場所として、教会共同体の性格を持っている。これはどう

と場合によって許されるかぎり、子どもをカトリック学校に託し、それぞれの力に応じて援助し、子どもの善のため、学校と協力する義務のあることを想起させ(「キリスト教的教育に関する宣言」8)ています。

とはいえ、カトリック学校は私立校であるため、国や自治体からの補助があっても、月謝が公立より高いという不利な条件を負っています。そこで、教区の手助け、生徒、両親、教師、職員の相互協力と協力でつくれる。そしてそれらの人々の人格的な関わりを通して完全な養成が行われる。そこで教えられることが、個人的な関わり、相互の関係、一貫した行動、日常の生活態度に現れるとき、生徒の養成により大きな影響を与え

3 カトリック学校教育の支援

第2バチカン公会議は、「カトリック信者の両親に対しては、時

り心から祈ったひとときとなりまし

「私は今、病気のためベッドで生活しています。けれども苦しいです。しかしあなたの叙階の知らせを受けた時、苦しみは喜びに変わりました。あなたのために捧げることができるところです。私の祈りはプレッシャーがもたらしません。しかしあなたが司祭への道を諦めたとしても、きつとあなたは私と同じように、他の人のために祈ることができるところです。逆に司祭になれたら、そのプレッシャーこそが恵みであることに気付くでしょう。



信仰年連載企画
長崎はなぜ長崎を棄てるのか ⑦

信仰生活の刷新

―地の塩・世の光への招き―

長崎教区司祭 山内 清海

1 信仰生活の刷新

第2バチカン公会議中、信徒としてはただ一人、顧問神学者の一人としてローマに滞在していた、当時ソルボンヌ大学のジャン・ギトン教授は、ローマでの講演で、「公会議は道を開き、種子をまき、軸を与える。しかし歴史が証明するように、公会議に続く時代は、長い混乱と動揺の時代が続くでしょう」と断言しました。公会議が目指す教会の「刷新」と「現代化」は、「わが身を削る痛み」なしには実現されませんから、教授の予言的言葉の通り、その後ある程度の「混乱」や「動揺」が教会を襲ったとしても、それは当然のことだったと言わなくてはなりません。

2 信仰生活の不変的要素

日本、とくに長崎司教区は、長く、壮絶な迫害を体験し、まさに鮮血を注いで信仰を守り、伝えました。この時代のわたしたちの先祖は、信仰の創始者であり、完成者であるキリスト(ヘブライ12・2参照)の、「自分を捨て、十字架を担って」(マタイ16・24)従うようにという招きを、忠実に生き抜きました。

3 信仰生活の可変的要素

ところが、完全な信仰の自由が保障されている現代の日本では、わたしたちの信仰生活について、大きな「刷新」が強く求められています。厳しく過酷な迫害時代は終わり、今やわたしたちには、新憲法第20条の下で、完全な信仰の自由が保障されています。わたしたちは、かつて先祖たちが命を懸けて求め続けた、いわば信仰の平和な時代に生きています。しかし同時にわたしたちは、このような信

仰の平和な時代に潜んでいるかもしれない、2つの大きな、そして危険な落とし穴に落ちないように、細心の注意を払わなければなりません。この大きな、危険な落とし穴との闘いを、わたしは「信仰生活の刷新」のための可変的要素と呼びたいのです。

その闘いの一つは、悪魔からの絶えざる、巧みな誘惑に対する警戒心です。よく「平和ボケ」という言葉が使われますが、信仰の平和な時代にも、同じ危険が潜んでいるかもしれない。だからベトロは、信仰の反対者たちが「吼えたいける獅子のように、誰かを食い尽くそうと探し回って」いますから、「身を慎み、目を覚まし」、「信仰を固く守って、悪魔に抵抗」(一ペトロ5・8・9参照)するようにと強く警告しているのです。

昨年の夏は、「竹島」や「尖閣諸島」の領有権問題と関連して、「実効支配」という言葉がしばしばマスコミを賑わしました。「実効支配」という名詞にはしばしば「静かな」とか「恐るべき」とかいう形容詞が併用されます。それは

知らぬ間に、「恐るべき」支配権の譲渡が、「静かに」進行している可能性が大きいからです。そのよき例が、昨年から韓国との間で激論されている「竹島」問題です。わたしたちは、主キリストが、ご自分の尊い御血を流し尽くして買い戻してくださったわたしたちの霊的領有権を、仮面をかぶった反対者たちの、「静かな」、「恐るべき」実効支配によって失われることがないように、ただ口先だけの権利主張ではなく、細心の注意を払って、常にその権利を実効的に行使していなければなりません。

さて、信仰の平和な時代に生きるわたしたちに求められる、もう一つの「信仰生活の刷新」は、わたしたちに課せられている福音宣教の使命の遂行です。迫害時代にわたしたちの先祖は、信仰を守り伝えるために、あえて自分の信仰を隠さなければなりませんでしたが、しかし今や、迫害の時代は完全に終わりました。今こそわたしたちは、信仰を公言し、すべての人々に、キリストの福音を積極的

人事異動・任命

(一) 内は前任地

▼教区(4月14日着任) (1)は2日、(2)は4月以降

阿野 武仁師 丸尾主任 (三浦町主任)

川上 忠秋師 深堀主任 (浅子主任)

山口 清師 引退 (丸尾主任)

岩崎 康彦師 青砂ヶ浦主任 (福岡・今村主任)

中村 倫明師 三浦町主任 (植松主任)

福岡 光明師 山田主任 (天神主任)

紙崎 新一師 植松主任 (深堀主任)

平本 義和師 天神主任 (木鉢主任)

山村 憲一師 福岡コレジオ院長 (1)

中島 誠志師 大野主任 (青砂ヶ浦主任)

熊川 幸徳師 イタリア・ローマ (2)

工藤 秀晃師 木鉢主任 (大野主任)

岩下 裕志師 浅子主任 (滑石助任)

中尾 直通師 イタリア・ローマ (2)

大木 満師 滑石助任 (仙台・宮古主任代行)

中野健一郎師 浦上助任 (浦上助任)

▼コンベンツアル聖フランシスコ修道会
柳本 繁春師 本河内主任 (鹿児島・古田町助任)

松田清四郎師 湯江主任 (大分・由布助任)

西田 正師 東長崎助任 (那覇・泡瀬主任)

谷村 達郎師 聖コルベ志願院(イタリア・アシジ)

西本 仁史師 小長井修道院付みさかえの園司祭館

山浦 義春師 東京・亀有主任 (本河内主任)

大木 恵一師 大阪・仁川学院マリアの園幼稚園

李 信衡師 イタリア・アシジ (聖コルベ志願院)

▼神言修道会
ブー・カイン・トゥオン師 聖ルドヴィコ神学院

新立 大輔師 名古屋・神言神学院 (名古屋)

イグナシウス・バサ師 仙台・四ツ家教会 (聖ルドヴィコ神学院)

▼韓国殉教福者聖職修道会
金 桐旭師 中町教会協力司祭 (韓国・ソウル)

▼オプス・デイ
木村 昌平師 長崎 (大分)

小寺左千夫師 大分 (長崎)

にわたしたちは、先祖たちが残してくれた過去の輝かしい信仰秘話や、殉教史などをただ語り継ぐだけでは、わたしたち自身が、信仰を実践的に生きる必要性と、その喜びを、日常生活をもって実証しなければなりません。

「信仰年」を契機にわたしたちは、「かくれカトリック信徒」、あるいは「無活動な信徒」などの汚名を捨てて、文字通り、「地の塩」「世の光」として再出発したいものです。

▼教区評議会総会 5月3日(金)10時、カトリックセンター。
▼132回クルシリヨ 5月3日(金)6日(月)、イエズス会立山修道院。問合先・宮崎美和子。TEL095・879・5102

感謝

―香典返―

長崎カトリック神学院

大脇京子様(浦上)

故ベトロ山中 悟様

中村和夫様(滑石)

故マダレナ

中村チヅ子様

中野砂代里様(植松)

故トマス中野安則様

平野信幸様(黒崎)

故マリア平野マチ様

右の方々から、寄付ご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

引退される司祭のために祈りを



45年にわたって司牧宣教に専念されたフランシスコ・ザビエル川口清師が引退されることになった。これまでの奉仕に敬意と感謝を表し、これからの健康を祈りたい。

略歴 1940年2月26日生まれ(本籍地 福江市平蔵町浜泊)。堂崎教会にて受洗。68年3月

19日大浦天主堂にて司祭叙階。同年3月三浦町助任、70年3月鮑ノ浦助任、71年5月出津助任、72年4月西木場主任、73年3月久賀島主任、75年3月深堀主任、76年6月井持浦主任、83年3月高島主任、90年11月国際協力委員会、滞り外国人と連帯する会(東南アジア在住日本信徒の司牧司祭派遣要請に基づき、91年から毎年3週間、シンガポールへ)、92年5月稲佐主任、98年4月平戸主任、2001年4月神ノ島主任、05年4月大浦主任、11年4月丸尾主任。引退後、五島市へ。

信徒発見記念ミサ

希望に支えられた信仰

信徒発見150周年を2年後に控えた3月17日、19時から大浦天主堂で高見三明大司教と9人の司祭の共同司式により記念ミサが行われた。

大司教は説教の中で、「潜伏キリシタンたちの中」は、時がたつに従って、なぜこんなに不自由な思いをして信仰を隠しながら守るのかと思った信徒もいたのではと想像する。しかし守り通せた

一番の要因は、信仰に「希望」があったからではないか」と語り、たくさん課題があっても希望を失わないようにと論じた。また教皇フランシスコが選ばれたことについても触れ、貧しい人々のための清貧な教会を目指す教皇と共に歩むよう呼び掛けた。

ミサ前には、ブチジャン神父に信仰を告白したイザベリナ杉本ゆりさんの妹、クララでるさんの5代目にあたる森内浩二



雲仙殉教祭

日時 5月19日(日)

開会 13:00

ミサ 13:30

巡礼 15:00

会場 雲仙メモリアルホール

ご先祖に心より感謝を・・・

材石 治明

長崎本店 長崎市城楽町13-1 電話 (095) 846-3598
大村店 大村市民霊園内 電話 (0957) 50-3008

当社オリジナル商品
一筆箋(教会編) 定価350円(税込)

各種印刷物のお見積りも無料です。お気軽にご相談下さい。

九州印刷株式会社

代表取締役社長 トマス 川原 保夫

〒852-8103 長崎市緑町4-5
TEL(095)846-6844 FAX(095)846-6845

主の平安

五島式典社(齋場) 五島中央会館
株式会社 五島式典社(齋場) 五島中央会館

代表取締役 ヨゼフ 浦 昭

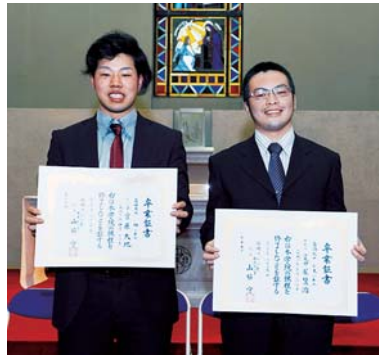
24時間営業

五島市上大津町1385番地1 TEL(0959)74-5551
FAX(0959)74-5552
五島市奈留町浦1899-1 TEL(0959)64-3101
FAX(0959)64-3102

主よ、収穫のために 働き手を送ってください

2人が大神学院へ進学

長崎コレジオ



鑑甲屋賢治神学生 (右) と
宮原大地神学生

出身の宮原

大地神学生

の2人。召

命が減少

している中

で、2人も

のコレジオ

生が卒業し

大神学院に

進学できる

ことは、教

区にとって

大きな喜び

となった。

卒業式の

後、会場を移して祝賀会

が開かれ、司祭団や家族、

ソロモン友の会、大浦コ

レジオ会、そして大浦教

会信徒の方々から祝福を

受けた2人は晴れ晴れと

した表情で果立っていつ

た。彼らは今月、日本カ

トリック神学院 (東京

キャンパス) に入学する。

4月5日に福岡コレジ

オが開校されることか

ら、長崎コレジオは現在

の3年生が卒業する2年

後は閉鎖さ
れる。4年生
1人、3年生
4人と、在校
生は年ごとに
数を減らして
いくが、2

2年ぶりの卒業式

長崎カトリック神学院

と励ましの言葉

を掛けた。

道を進めるよう

祈っています」

2月28日、長崎カト

リック神学院で2年ぶり

の卒業式が、高見三司大

司教、郡山健次郎司教、鹿

児島教区、保護者を迎え

て行われた。

卒業生は、鹿児島教区

鴨池教会出身の大田聖

神学生、大田神学生は目

に涙を浮かべながら6年

間の思いを述べて、最後

に「新しく始まる福岡コ

レジオでみんなを待つて

いる」と卒業の言葉を結

んだ。

式後、食堂で食事が

行われ、大田神学生の母

親は「あまり熱心でない

家庭から、一人息子が絶

対神父になると言って神

学校に来て6年。よくが

んばったと思います。こ

れからもしっかりと召命の



希望に満ちた未来のために

シノドスに向けて司祭研修会

2月26、28日、司祭研
修会が長崎大司教館で開
催された。黙想会の時期

と重なったことで欠席者

も多かったが、約70人の

司祭が参加し、来年開催

される教区シノドス (教

区代表者会議) や司牧上

の問題について研修した。

「現在、小神学生は15

人。9人が長崎教区、6

人が福岡教区です。この

4月には4人 (長崎、福

岡各2人) が入学します。

司祭への道を選ぶ子ども

がいたら、進ませてほし

い。本人の強い意思はも

ちろんですが、親の協力

なしに召命の実りはあり

ません」 (眞浦健吾院長)

「現在、小神学生は15

人。9人が長崎教区、6

人が福岡教区です。この

4月には4人 (長崎、福

岡各2人) が入学します。

司祭への道を選ぶ子ども

がいたら、進ませてほし

い。本人の強い意思はも

ちろんですが、親の協力

なしに召命の実りはあり

ません」 (眞浦健吾院長)

「現在、小神学生は15

人。9人が長崎教区、6

人が福岡教区です。この

4月には4人 (長崎、福

岡各2人) が入学します。

司祭への道を選ぶ子ども

がいたら、進ませてほし

い。本人の強い意思はも

ちろんですが、親の協力

なしに召命の実りはあり

ません」 (眞浦健吾院長)

「現在、小神学生は15

人。9人が長崎教区、6

人が福岡教区です。この

4月には4人 (長崎、福

岡各2人) が入学します。

司祭への道を選ぶ子ども

がいたら、進ませてほし

い。本人の強い意思はも

シノドスの開催意図

続いて高見三司大司教

は、教区シノドス開催の意

図を説明し、あらためて

司祭団の協力を願った。

教区シノドスとは、「教

区共同体の全体の善益の

ため、教区司教を助ける

ことを目的として選出さ

れた部分教会の司祭及び

その他の信者の集会」 (教

会法460条) をいう。

すなわち、教区民全体が

司教の宣教と司牧に参与

し、皆が交わる場である。

2015年、長崎の教

会が「信徒発見」150

周年を迎える。命を懸け

た信仰告白から150年

間、先祖たちは信仰を伝

異宗婚と司牧

2日目は、カトリック

信者と非キリスト者の結

婚である異宗婚について

、法務代理の古巣、警師

と福岡教区の宮原良治司

教が講話を行った。

古巣師は、まず長崎教

区の再生は異宗婚の家庭

に対する教区挙げての取

り組みにかかっていると

指摘。異宗婚が免除可能

な障害である理由とし

て、神の子らを一人も失

いたくないという母なる

教会の思いを挙げ、司牧

者はこの教会の切なる願

いを司牧者自身の思いと

と配慮を願った。

宮原司教は、昨年参加

したローマでのシノドス

第13回通常総会のテー

マ「信仰を伝えるための

新しい福音宣教」を引

用し、司祭に求められる

「新しさ」、すなわち新し

い手段、新しい表現方法

、新しい情熱について語

った。具体的な取り組み

として、成熟した結婚生

活を見据えながら、それ

「みことば友の会」は11年前、
2002年にそれまでの「要理教
師の会」を衣替えし、「みことば
の宣教と会員相互の研修」を目
指して発足しました。会員たちは教
会学校など、教区内外でそれぞれ
が活躍しています。



クセンターで最後の研修会の後、
高見三司大司教や教区本部事務
局の神父様方のご臨席のもとに解
散式を行い、出席者全員で、今後も
「みことばの宣教」に努めること
を誓い合い、11年間の活動を締め
くくりました。

「みことば友の会」解散 それでも地道な宣教を

会報を会員に届け、誰でも参加
できる研修会や巡礼を企画し、生
涯養成委員会の行事にも関わって
きました。少なくとも、これらの
行事に参加された方々には満足い
ただけでしたが、研修会などに参
加できる会員の数は物理的に限ら
れ、会報にも限界がありました。
そんな時、教区本部事務局の意向

もあり、創立10周年に行った会員
アンケートの結果も踏まえて協議
を重ねた結果、12年度末をもって
「みことば友の会」を解散すると
いう決断に至りました。
そして、去る3月3日、カトリッ

で、新しいミサ典礼書の
現状が報告された。ほと
んど作業も終わり、曲も
できている。後は典礼秘
跡省に提出して認可をい
ただく段階。今は過渡期
にあり、そのためにさま
ざまな混乱があるのも事
実」と語った。

最後に教区典礼委員長
の平本義和師が、教区シ
ノドスアンケートの結果
をもとに典礼に関する現
状を説明した。特に祈り
の改訂による混乱とミサ
中の説教に対する意見が
多く見られ、司祭に反省
を促すものとなった。

情熱にしなければならな
いと語った。以前はカト
リックの洗礼を受けな
い結婚を認めない風潮が
あったが、1970年以
降、信教の自由に基づく
規定改正により異宗婚が
増加。それに伴い成人・
幼児洗礼ともに減少の一
途をたどっている。洗礼
を受け信仰を伝えること
は親の務めだとしても、
教会がその受け皿を用意
し、司祭が親の悩みに寄
り添ってきたかを反省す
る必要がある。さらに離
婚者の司牧について、「あ
りつたけの信仰と勇気を
振り絞って、教会の門を
たたき信者がいる。彼ら
の希望を失わせることが
ないよう」司祭団の協力
と配慮を願った。

最終日は、日本カト
リック神学院の白浜満
師が「第2バチカン公会
議によって示された典礼
の本質」について講話を
行った。教会史の中で、
典礼概念がどのように進
展してきたかを概観し
た後、典礼について初め
て公式な定義を打ち出し
た教皇ピオ12世回勅「メ
ディアトル・デイ」 (1
947年) を紹介。典礼
は「イエス・キリストの
祭司職の行使」であり、
「イエス・キリストの神
秘体の、すなわちそのか
しらと肢体との公的な礼
拝のことである」とした。
さらに第2バチカン公会

議文書「典礼憲章」 (63年)
は、典礼において人間を
聖化する神の働きを強調
し、教会の活動における
典礼の優位性を明らかに
した。白浜師は「宣教・
司牧はまず祭壇 (典礼)
から。神の恵みを受けな
ければ、教会は神の道具
としてふさわしく活動す
ることができない」と述
べ、典礼に対する司祭の
真摯な態度と、全信徒の
充実した行動的参加の必
要性を強調した。

続いて行われた質疑応
答では、ミサに関する司
祭団の質問に答える中

典礼について

最終日は、日本カト

リック神学院の白浜満

師が「第2バチカン公会

議によって示された典礼

の本質」について講話を

行った。教会史の中で、

典礼概念がどのように進

展してきたかを概観し

た後、典礼について初め

て公式な定義を打ち出し

た教皇ピオ12世回勅「メ

ディアトル・デイ」 (1

947年) を紹介。典礼

は「イエス・キリストの

祭司職の行使」であり、

「イエス・キリストの神

秘体の、すなわちそのか

しらと肢体との公的な礼

拝のことである」とした。
さらに第2バチカン公会

大槌ボランティア募集

長崎教区評議会は東日本大震災復興支援に関し
て、大槌ベースキャンプ (岩手県上閉伊郡大槌町)
へのボランティアを引き続き募集し、協力を呼び
掛けている。8月までに実施される期間と申込締
切日は次の通り。

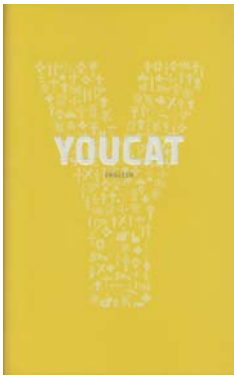
- 5月16日 (木) ~ 22日 (水) (5/1 締切)
- 6月13日 (木) ~ 19日 (水) (5/29 締切)
- 7月11日 (木) ~ 17日 (水) (6/26 締切)
- 8月22日 (木) ~ 28日 (水) (8/7 締切)

定員10名程度 (JR・航空機利用)。申し込み
は所属小教区へ。問い合わせは、教区本部事務局
(渡辺) まで。

TEL 095・842・4450
FAX 095・842・4460

若者のためのカテキズム

YOUCAT 出版へ最終段階



YOUCAT (Youth catechism) は、ウィーン
大司教シモン・ボーン枢機卿が、青
年たちと協働で編さんした若者の
ためのカテキズム (要理書)。2
010年3月にオーストリア司教
協議会の認可、同年のうちにドイ
ツとスイスの司教協議会の認可、

出版は6月の予定。

出版は6月の予定。

出版は6月の予定。

大司教館で青年黙想会

交わりを深める食事と秘跡



トリック
神学院養
成者であ
る谷脇誠

教区青少年委員会の呼び掛けで、2月24日(日)午前10時から、青年を対象とした黙想会が大司教館で行われ、約40人が参加した。

午後の部では、分ち合いとミサによって親交を深めた後、7月のWYDリオデジャネイロ大会と8月の九州青年キャンプの説明をもって黙想会を終えた。

一郎師が講師を務め、「秘跡―神と人とを結ぶ―」をテーマに講話が進められた。谷脇師は自身がイタリアに留学した経験の中で、「共に勉強した各国の司祭と、国籍は違いますが料理する食事することによってコミュニケーションをとることができた。食事は交わりの場であり、それによって親睦を深めることができる」と語った。さらに食事とミサの関わりを通して「神と人との交わりの場」である秘跡の重要性を挙げ、「イエス・キリストが、神と人とを交わりの中でつないでくださる」と説いた。

信仰養成講座修了式

5人に2級資格を授与



代表してコン
ベンツアル聖
フランシスコ
修道会の高原

晃修道士が関係者への感謝の思いを伝えるとともに、「日々の生活の中で深く神様を感じながら、さらに自己研さんにならめ、カテキスタとして教会の発展に協力したい」と決意を述べた。

短 信

＜合同堅信式＞

●平戸地区合同堅信式が2月17日田平教会で行われ、7小教区(田平、平戸、紐差、上神崎、山田、宝亀、西木場)から大人も含め計45人が参加した。

●佐世保地区では、3月10日に地区南部の小教区が三浦町教会で、17日に北部の小教区が浅子教会で合同堅信式を行い、大人も含め計86人が聖霊の恵みを受けた。

＜東日本大震災2年の祈り＞

●大震災から2年目となる3月11日、長崎キリ



韓国からの巡礼者に長崎のことを正しく知ってもらうため、2008年7月、韓国・大邱大司教区から派遣された。所属するイエズス聖心侍女会

韓国の巡礼者に殉教地・長崎を伝える

ジュリエッタ李 健淑修道女

部と187殉教者列福式の年だった。ご自分の国で殉教された188人がご自分の国で列福される。全国から福者たちが喜んでいらつしやうと思

されていなのかと質問を受けましたが、『日本は根が深く、韓国は日本に比べて根が浅い。韓国は殉教者の血の上に建てられた教会と言われるが、日本はもっと歴史も深く殉教者も多い。いつ

まを喜ばせるひとつの役を熱く丁寧に務める。巡礼に同行する先は九州全域。何十回も同じ場所に人々を連れて行くのに飽きない。不思議でしょ。その場所を訪れるたびに深く殉教者たちの思い



か聖霊の働きがあれば、日本の方が信者が増えるかもしれませんよ」と答えます。

韓国と日本。互いの良さを学び合う交流の手伝いができたらと、「神さ

や信仰に触れ、新しい力をいただきます」長崎の信徒たちが、250年間も信仰を守り通した力は誇りだと思っ

新刊良書

★み旨のままに 著J. P. コッサード 訳水谷愛子



★石路の詩 ―(つわぶきのうた)― 著崎濱宏美



あらゆる心の状態において「み旨のままに」をいかに実践するかについて、イエズス会士、コッサード神父の書簡で編さんされた霊的指導の書。

「陽ざしをさえぎる木立の下でも、岩だらけのやせた土にも、石路は、しっかりと根付き、じつと耐えて生きている。ま

アガタ 牧山フサエさん (牧山強美師実母)



2月21日午前1時15分、長崎市の井上病院にて肺炎のため帰天。89歳。通夜は21日、葬儀・告

別式は22日鮑ノ浦教会で執り行われた。

葬儀ミサの始めに高見三司大司教は、我が子を神にささげ、召命の道を祈りによって支え続けた故人と家族に感謝の言葉を述べた。

説教の中で牧山強美神父は、「2月10日、意識がもうろうとしている母と3時間ほど過ごしました。震える手で、何度と

なく十字架のしるしをする母。思えば十字架のしるしも十字架を身に刻むことです。その翌日、母は2つの遺言を残しました。大神学校に寄付をすること、家族みんなが信仰を守ること」と語り、

永遠の命を迎え入れられた故人の前で、信仰のたすきを受け継ぐ決意を新たにしました。

墓地・納骨堂 分譲中

高尾・本原・石神・江平・坂本 他 現地ご案内致します

なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
長崎市梁川町6-17 岩永ビル
☎(095)862-2469

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式
(有) 栄光式典社
代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士
大田白蟻研究所
代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8488